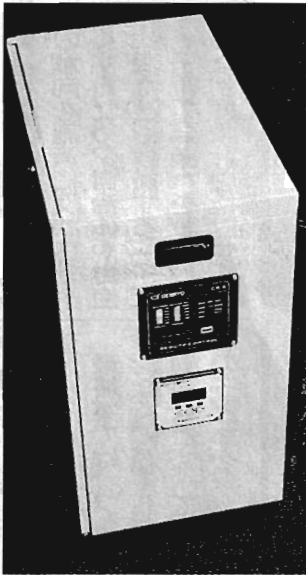


インターネットのシステム構築などを手掛ける「システムインナカゴミ」（中央市山之神、中込裕社長）は、精密機器にも使える家庭用蓄電池を開発した。電力会社と同じ「正弦波」（サイン波）と言われる電気で出力するのが特徴で、大手メーカーの商品よりも低価格で販売。同社は「安定した波形で出力するので、在宅で人工呼吸器を使っている家庭も安心して利用できる」としている。



システムインナカゴミが開発した家庭用蓄電池

精密機器にも対応 家庭蓄電池を開発

システムインナカゴミ 出力安定、低価格を実現

東日本大震災による計画停電で、事業所や自宅で医療機器を使っている人から「停電になっても機材が動かせる小型の蓄電池がほしい」との要望があり、3月から開発を始めた。

開発した家庭用蓄電池（縦50センチ、横30センチ、高さ60センチ）は重さ約35キログラムで、移動しやすいキャスター付き。5時間の充電で、容量5000mAhの冷蔵庫

を約5時間、19型の液晶テレビを約20時間稼働できる。「矩形波（方形波）」で出力するタイプに比べ、商用電源と同じ正弦波で出力するので、「波形が常に安定していて、精密機器でも安心して使用できる」という。

また、太陽光発電パネルとセットにした蓄電池も販売。シリコン製の太陽光パネルは

一部に影がかかると発電できないが、同社は影があっても発電できるCISソーラーパネルを採用した。年間の発電量はシリコン製より約8%多いといい、充電時間は太陽光パネル1枚タイプで約7時間半、2枚タイプで約3時間半となっている。

価格は太陽光発電パネルのない蓄電池が19万8千円。太

労働委員15人任命 会長に鶴田氏再任

横内正明知事は5日までに、労使紛争などを調整する山梨県労働委員15人を任命した。

労働委員会は有識者が務める公益委員、労使双方の立場からの労働者委員と使用者委員5人ずつで構成。任期

陽光パネル1枚付きが29万8千円で、2枚付き（延長ケーブル付き）は33万8千円。「大手メーカーが販売している正弦波タイプの蓄電池が80万〜100万円なのに対し、購入しやすい価格にした」（同社）としている。

問い合わせはシステムインナカゴミ営業部、電話055（230）7611。

は1日から2年間。会長には鶴田和雄氏、会長代理に田中正志氏をそれぞれ再任した。

委員は次の通り。

▽公益委員 勝俣高明、加藤里美、田中正志、鶴田和雄、深松和子▽労働者委員 青柳和仁、窪田清、神宮寺聡、中沢晴親、萩原雄二▽使用者委員 小池基次、小林隆一、田中好輔、松橋勝美、矢沢雄児